

第3回講座

自然解説をしてみよう (インタープリテーション)

2016パークレンジャー養成基礎研修

2016//5/15

NPO法人日本パークレンジャー協会



1. インタープリテーション(Interpretation)

- Interpret : 説明する、通訳する、演ずる...

- **Interpreter** : 通訳者、解説者

(インタープリター)

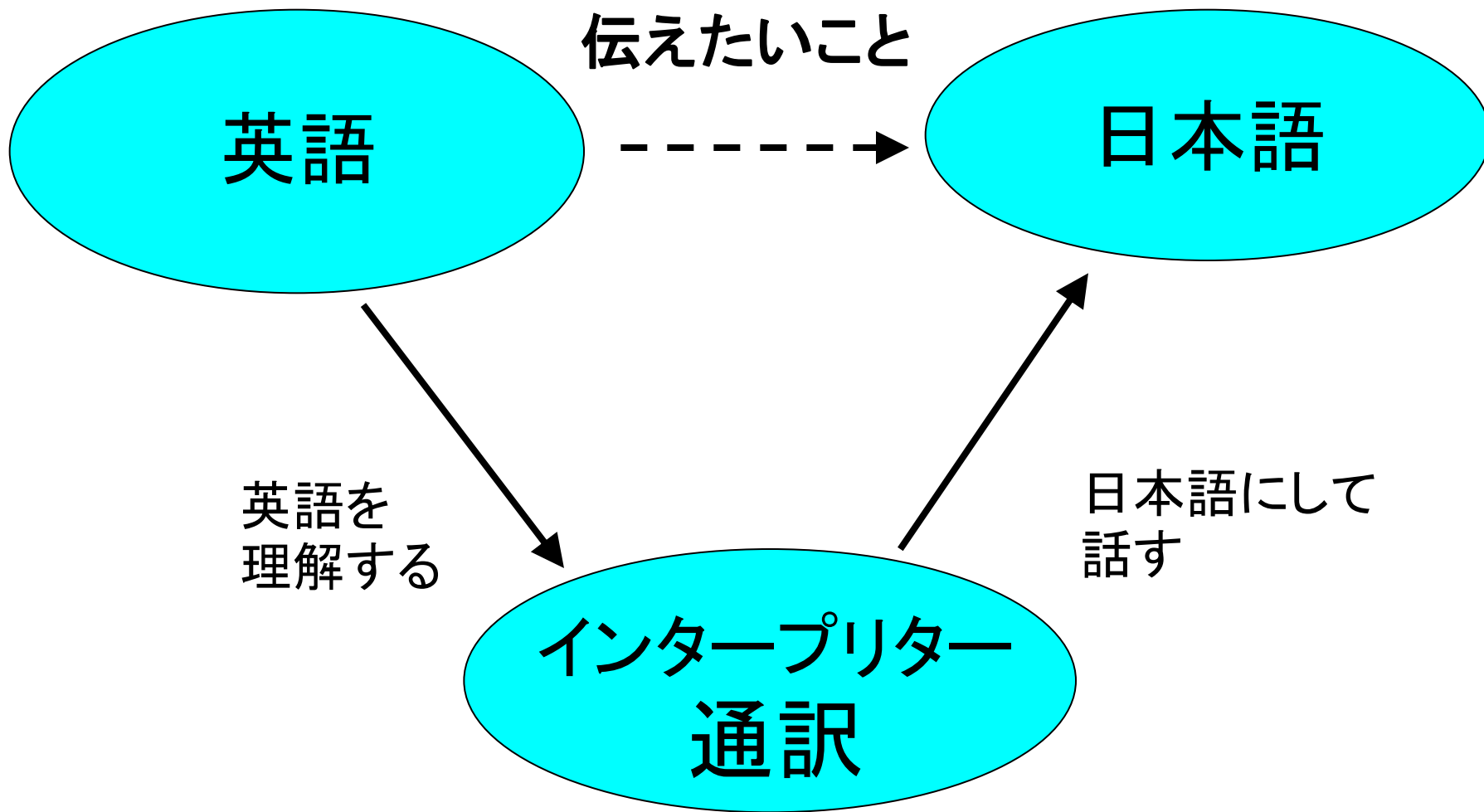
話の対象は、自然、文化、歴史、観光...

- **自然解説員**(Nature Interpreter)

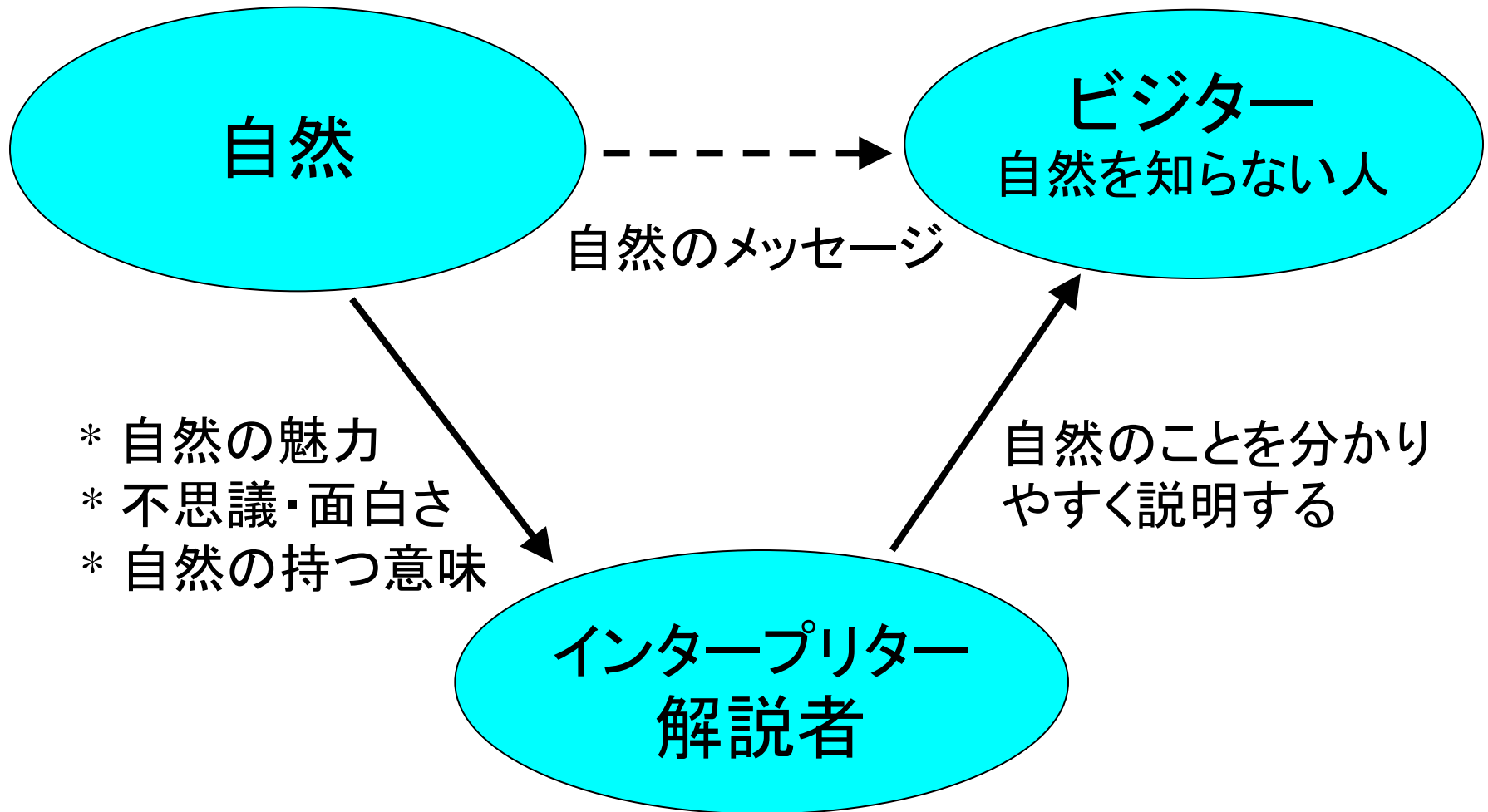
自然のことを分かり易く説明する人

インタープリテーション → 分かりやすく説明すること

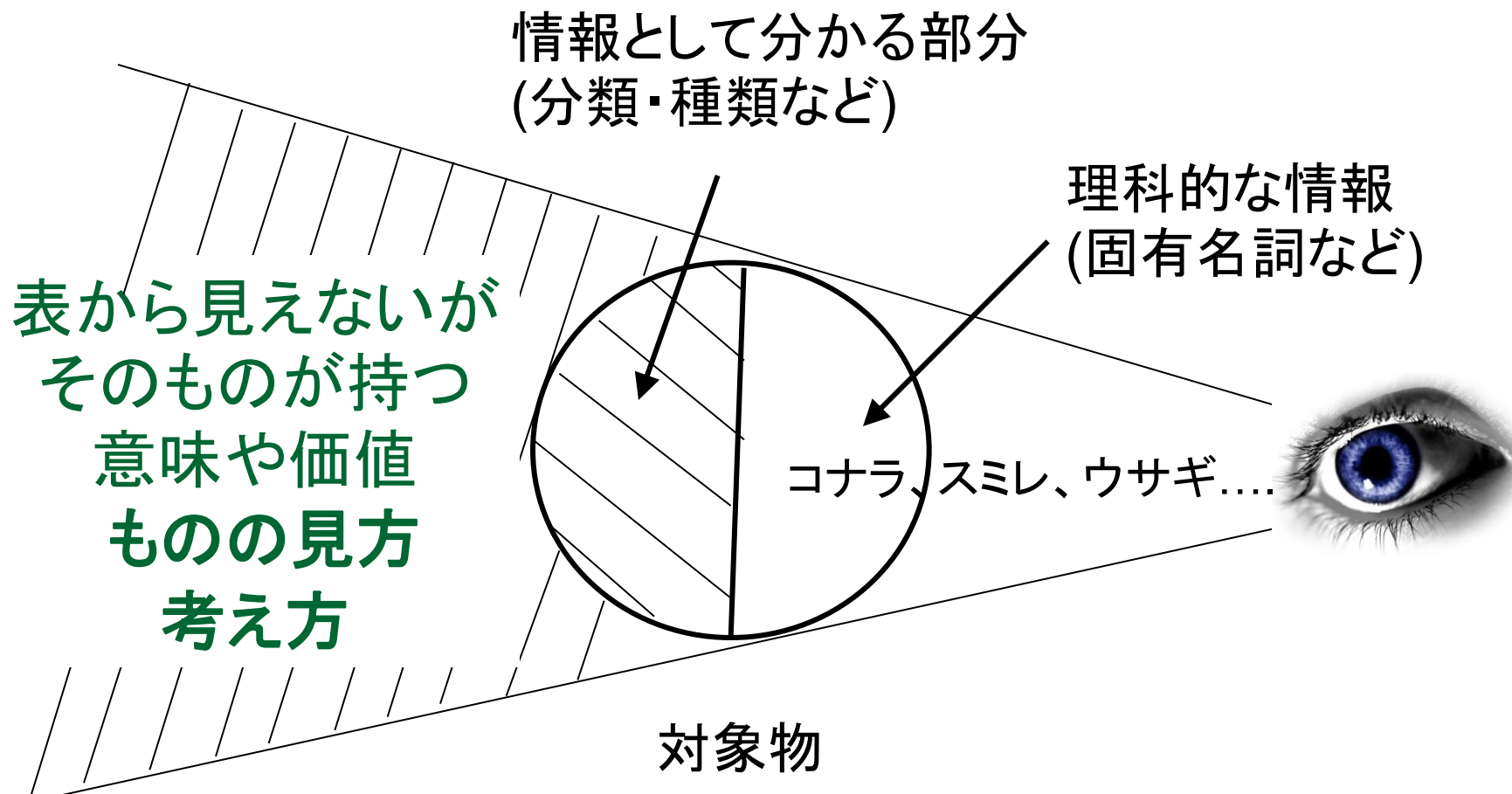
2. 言葉の通訳(Language Interpretation)



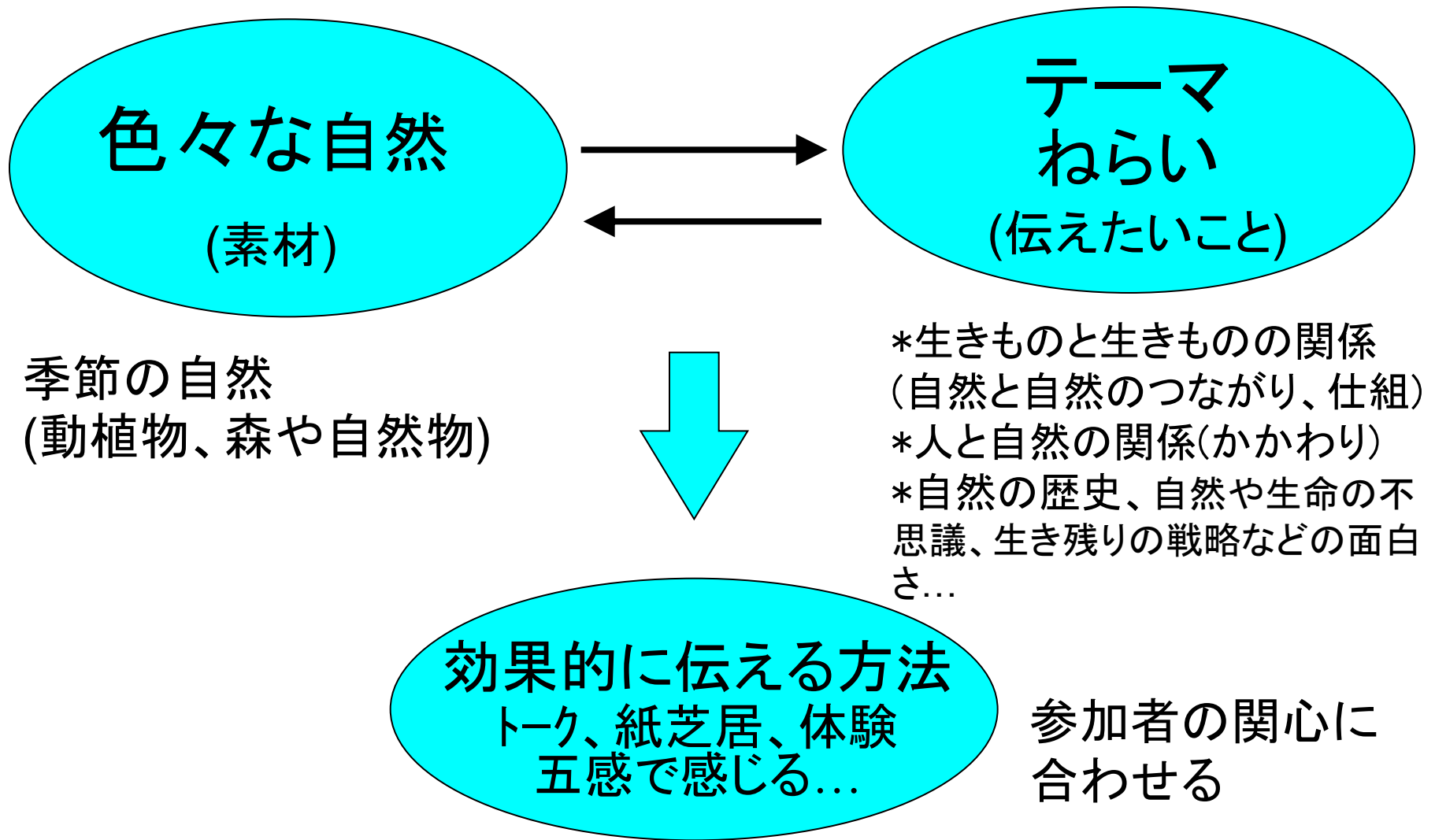
3. 自然の解説 Nature Interpretation



4. 伝えたいことは、



5. 自然解説のテーマ



6. 自然解説の流れ(プログラム)

- (開会のあいさつ：XXを始めます / 私はZZZです)
- 導入：どんなことをするのか説明する (つかみ)
- 本体：観察・体験・協力・五感・作業・発見・表現....
- ふりかえり/わかちあい：体験の紹介
参加者が体験を通じての気づき・学びを紹介し合う
- まとめ(思いを伝える):
「自然の大切さ」を自分の言葉で伝える
- (閉会：ありがとうございました これで終わります)

自然に親しむ → 自然を知る・理解する → 大切に作る人になる

7. 伝え方(例)

- **話す**: 言葉で説明する
- **見せる**: 現物を見る (写真・紙芝居なども)
- **質問する**: 問いかけをして考えてもらう(双方向で話しする) / クイズ
- **体験する**: 五感で感じる (見る・聞く・匂う・味わう・触る)
- **ネイチャーゲーム**: 自然をゲームを通して伝える
- **ともに喜ぶ**: 相手の発見に共感する(すごいね、良く見つけたね)
- **相手に合わせて話しする**: 子どもには子どもの話し方をする

相手に伝わるように話をするには

- ① 何について話をしているのか明確にする
- ② 相手に分かる言葉で話す
- ③ 話の筋が通るように話す

専門用語や難しい言葉は使わない(相手に合わせる)

8. 伝え方の四つの型

1. 説明型(一方向)
2. 対話型(双方向)
3. 体験型(五感で感じる)
4. 参加者主体型(自分で考え行動)

ことわざ:

聞いたことは忘れる

見たことは覚える

やったことは解る

見つけたことはできる

メモ